

愛知県地震概況

令和2年（2020年）5月

この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

5月に愛知県内で震度1以上を観測した地震は5回発生しました。

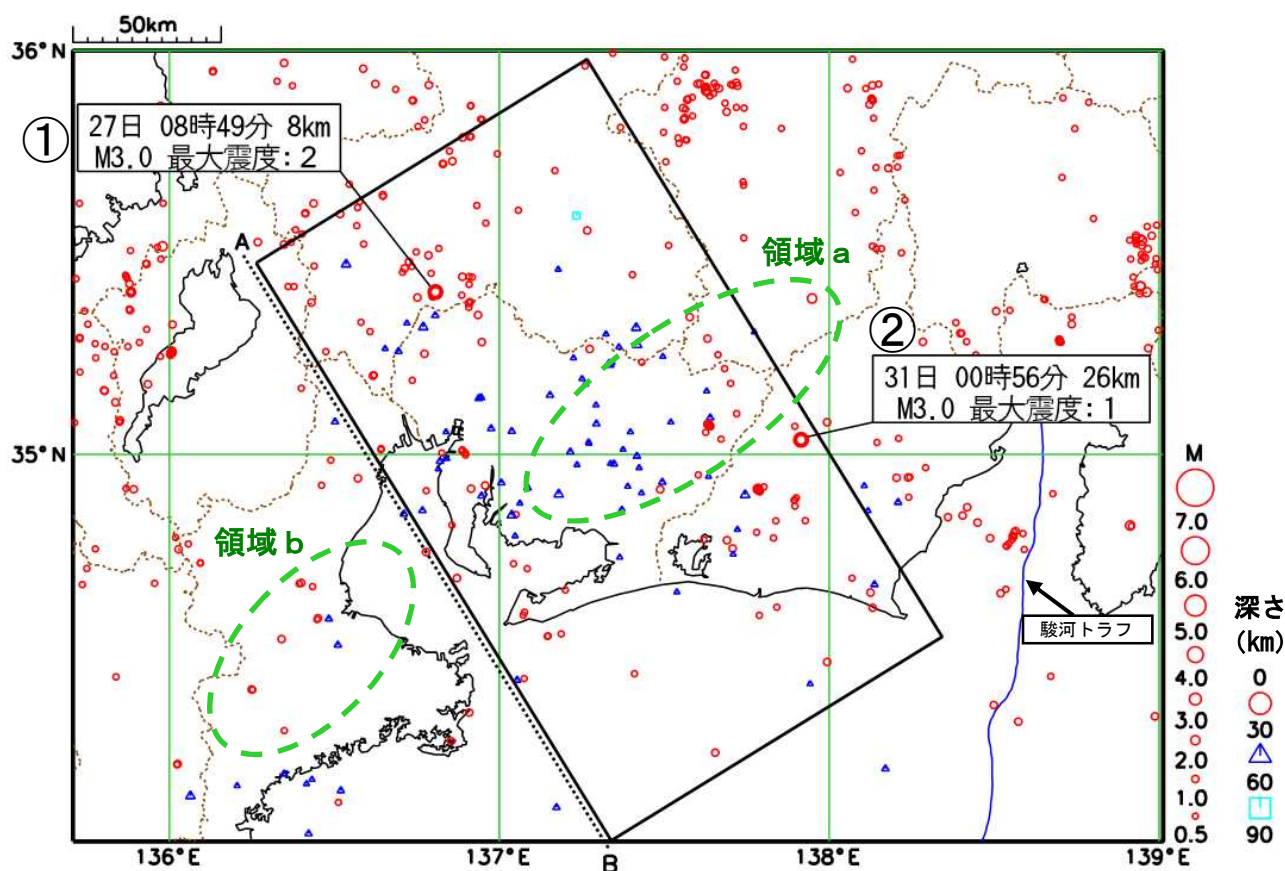
また、下記の領域・期間において深部低周波地震を観測しました。

・東海（領域a）

1日、3～4日、7日、9日、14～17日、19日、23～25日、29日、31日

・紀伊半島北部（領域b）

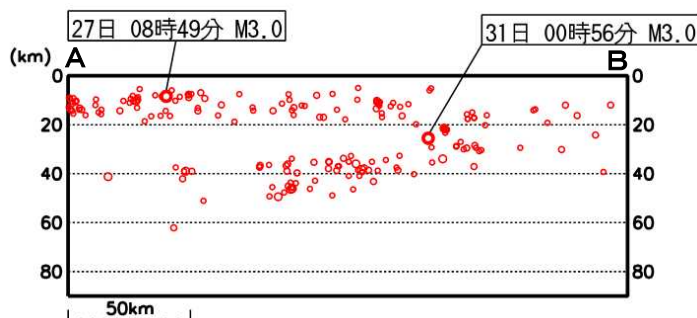
4～5日、17日、19日、28日、31日



震央分布図（2020年5月1日～31日 深さ0～90km M $\geq$ 0.5）

（破線）深部低周波地震（微動）

深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。（注）Mはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、A-Bに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ25km程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度 1 以上を観測した地震

長野・岐阜県境付近の地震活動（1 頁目震央分布図領域外）

5 月 19 日 13 時 12 分に岐阜県飛騨地方で発生した M5.4 の地震（深さ 3 km）により岐阜県高山市で震度 4 を観測したほか、中部地方などで震度 3～1 を観測しました（図 1）。愛知県では、名古屋市、豊田市、豊橋市などで震度 1 を観測しました。気象庁は、この地震に対して緊急地震速報（警報）を発表しました。また、29 日 19 時 05 分に長野県中部（情報発表名は岐阜県飛騨地方）で発生した M5.3 の地震（深さ 4 km）により岐阜県高山市で震度 4 を観測したほか、中部地方などで震度 3～1 を観測しました（図 2）。愛知県では、名古屋市、豊田市、新城市などで震度 1 を観測しました。なお、13 日 09 時 40 分にも長野県中部（情報発表名は岐阜県飛騨地方）で発生した M4.7 の地震（深さ 2 km）により長野県長野市、岐阜県高山市で震度 2 を観測したほか、愛知県や山梨県などで震度 1 を観測しました。愛知県では、新城市と豊根村で震度 1 を観測しました。これらの地震は地殻内で発生しました。19 日と 29 日の地震の発震機構は北西－南東方向に圧力軸をもつ横ずれ断層型です（図 3、4）。この付近では、4 月 23 日にも M5.5 の地震（最大震度 4）が発生するなど地震活動が続いています。5 月以降の活動をみると、今回の活動領域の主に北側（図 5 領域 b の青色部分）で地震が発生しています。4 月 22 日から 5 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 169 回^{（注）} 発生しました。

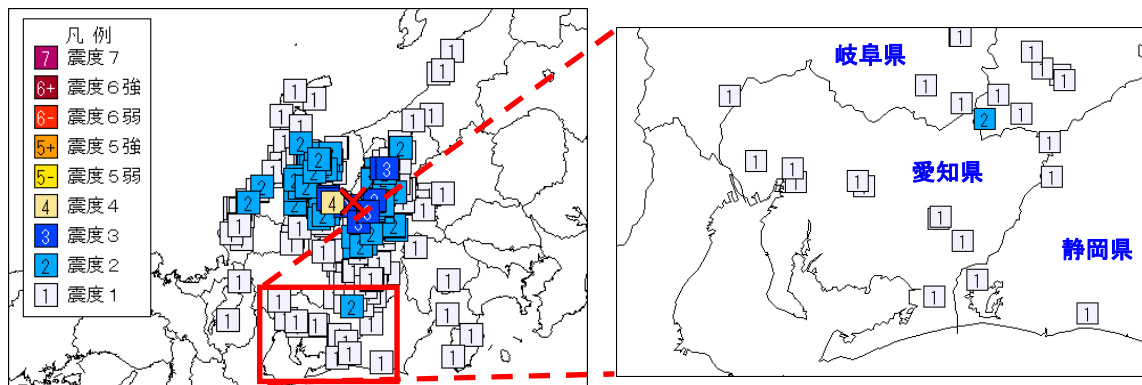


図 1 5 月 19 日 13 時 12 分 M5.4 震度分布図（観測点別、×：震央、左図広域図、右図詳細図）

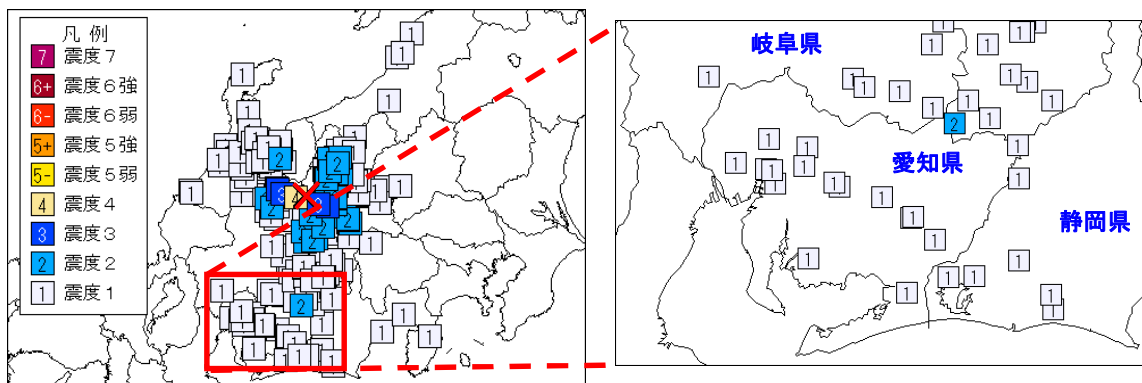


図 2 5 月 29 日 19 時 05 分 M5.3 震度分布図（観測点別、×：震央、左図広域図、右図詳細図）

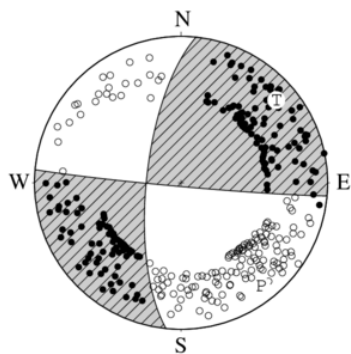


図3 下半球等積投影
初動発震機構解
5月19日13時12分 (M5.4)

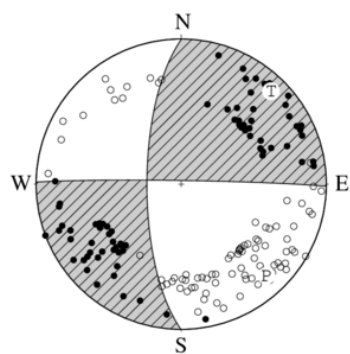


図4 下半球等積投影
初動発震機構解
5月29日19時05分 (M5.3)

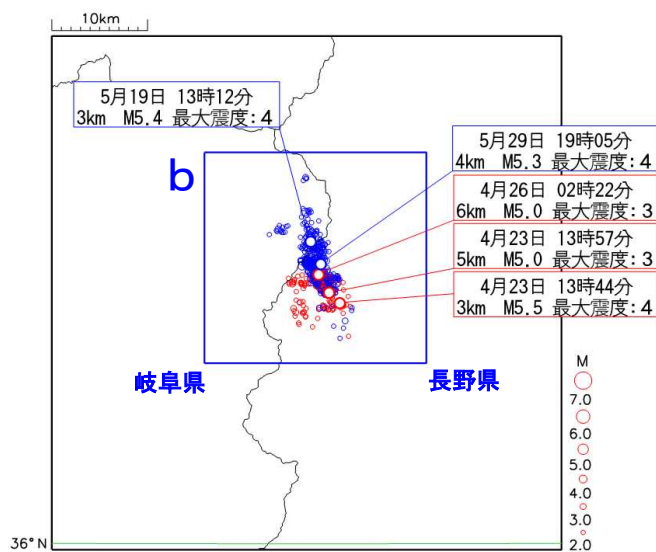


図5 震央分布図
(2020年4月21日～2020年5月31日
深さ0～20km M $\geq$ 2.0)

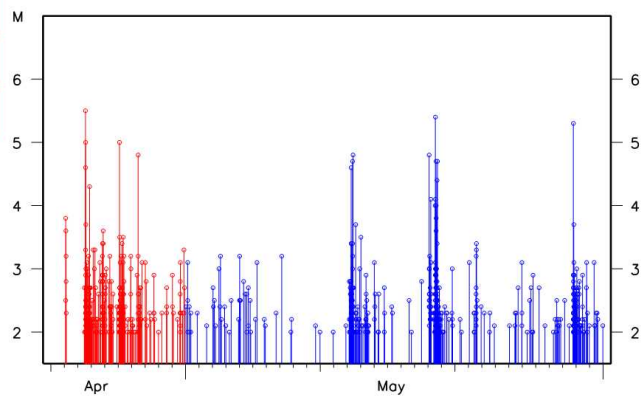


図6 領域b内の地震活動経過図
赤色：4月21日～30日
青色：5月1日～31日

(注) 愛知県内の詳細な震度の観測状況は気象庁 HP をご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

岐阜県美濃中西部（震央分布図①）

5月27日8時49分に岐阜県美濃中西部で発生したM3.0の地震（深さ8km）により愛知県と岐阜県で震度2～1を観測しました（図1）。愛知県では、一宮市で震度2、犬山市で震度1を観測しました。1997年10月以降の活動をみると今回の地震の震央付近（図2領域a）は、定常的に地震活動がみられる領域です。先月の30日にはM2.8の地震（最大震度2）が発生しました。また、1885年以降の活動をみると今回の地震の震央周辺（図4領域b）では、1891年10月28日にM8.0の地震（濃尾地震）が発生しました。

地震本部の長期評価によれば、この地震の際、温見断層北西部と濃尾断層帯主部の根尾谷断層帯、梅原断層帯が活動したとされ、死者7,273人、家屋全壊142,177棟などの被害が生じました（被害は日本被害地震総覧よる）。

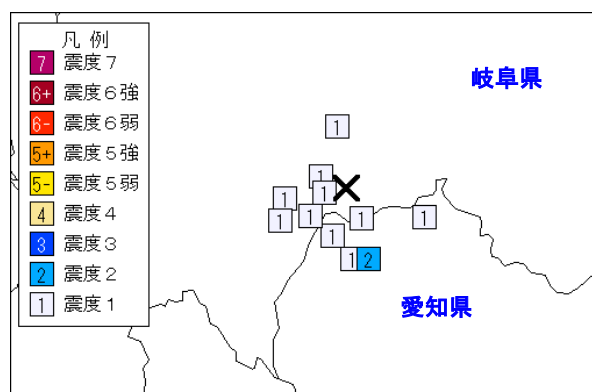


図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

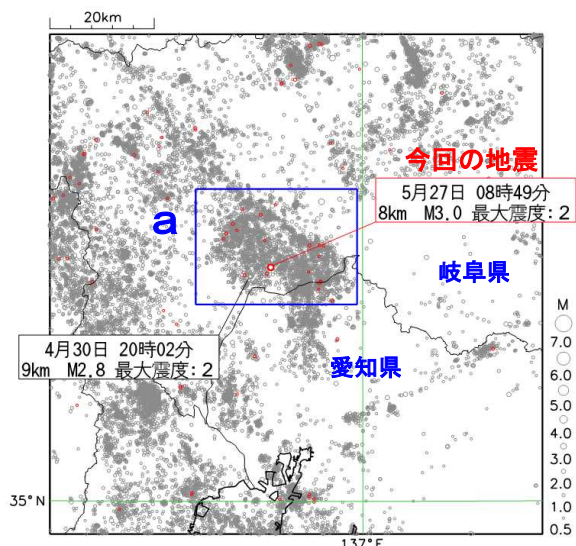


図2 震央分布図
(1997年10月1日～2020年5月31日
深さ0～20km M≥0.5)

※2020年5月の地震を赤で表示

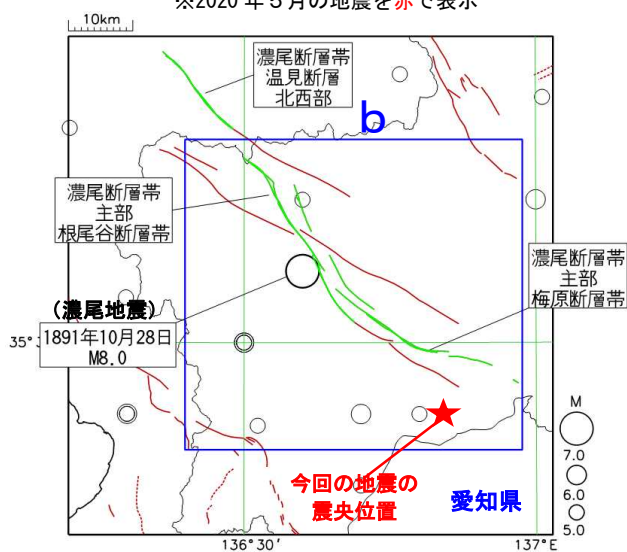


図4 震央分布図
(1885年1月1日～2020年5月31日
深さ0～30km M≥5.0)

茶線と緑線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

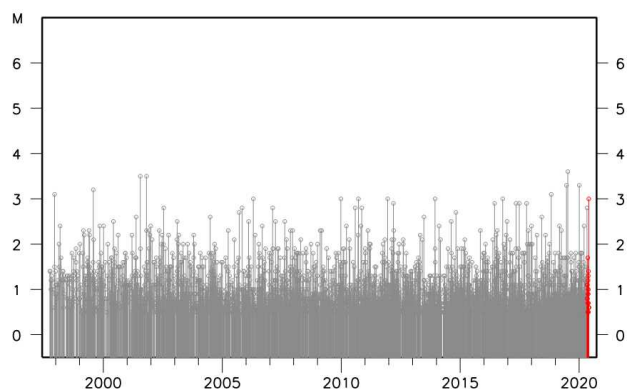


図3 領域a内の地震活動経過図

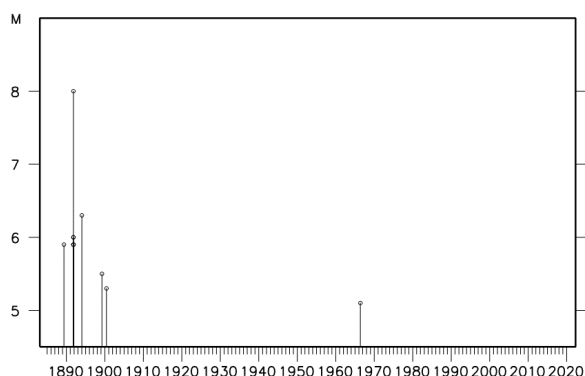


図5 領域b内の地震活動経過図

静岡県西部（震央分布図②）

5月31日00時56分に静岡県西部で発生したM3.0の地震（深さ26km）により愛知県新城市と静岡県浜松市で震度1を観測しました（図1）。1997年10月以降の活動をみると今回の地震の震央付近（図2領域a）は、M3以上の地震が時々発生するなど、定常的に地震活動がみられる領域です。2012年10月16日にはM3.5の地震（最大震度1）が発生しました。

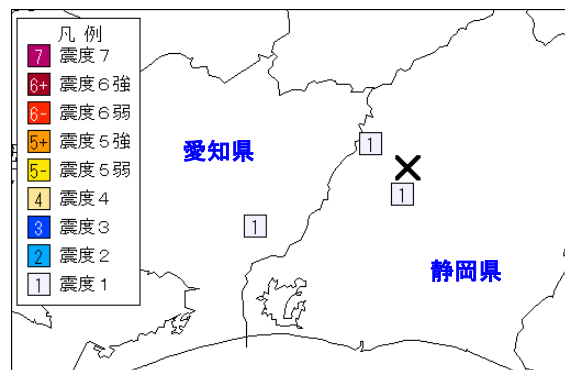


図1 震度分布図（観測点別、×：震央）

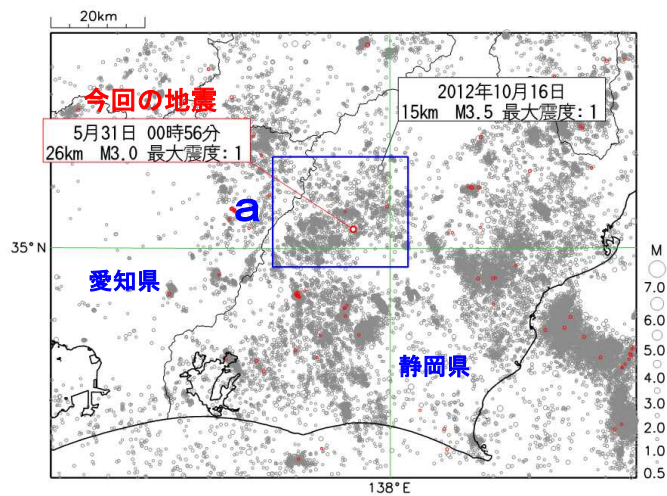


図2 震央分布図
(1997年10月1日～2020年5月31日
深さ0～30km $M \geq 0.5$)
※2020年5月の地震を赤で表示

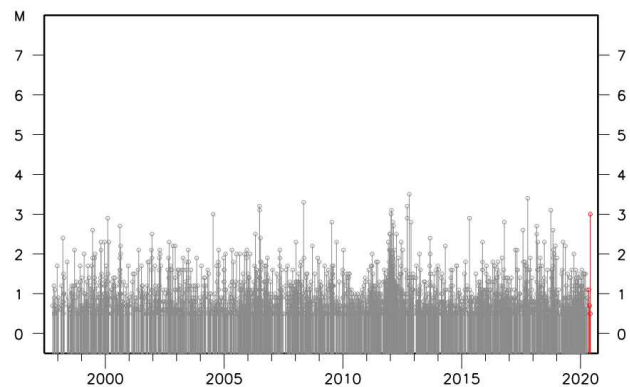


図3 領域a内の地震活動経過図

○震度 1 以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	各地の震度
※2020 年 05 月 13 日 09 時 40 分	長野県中部	36° 15.1' N	137° 37.9' E	2km	M4.7	
※2020 年 05 月 13 日 09 時 41 分	長野県中部	36° 15.0' N	137° 38.2' E	4km	M3.4	
※2020 年 05 月 13 日 09 時 40 分	長野県中部	36° 15.0' N	137° 38.4' E	5km	M3.2	
愛知県 震度 1：新城市矢部, 豊根村富山＊						
※を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示します。						
※2020 年 05 月 19 日 13 時 12 分	岐阜県飛騨地方	36° 17.0' N	137° 37.7' E	3km	M5.4	
※2020 年 05 月 19 日 13 時 13 分	岐阜県飛騨地方	36° 16.7' N	137° 37.2' E	4km	M4.1	
愛知県 震度 1：豊橋市向山, 新城市矢部, 新城市作手高里松風呂＊, 新城市作手高里縄手上＊ 豊根村富山＊, 名古屋瑞穂区塩入町＊, 名古屋南区鳴尾＊, 豊田市小坂町＊ 豊田市長興寺＊, 蟹江町蟹江本町＊						
※を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示します。						
2020 年 05 月 27 日 08 時 49 分	岐阜県美濃中西部	35° 24.2' N	136° 48.3' E	8km	M3.0	
愛知県 震度 2：一宮市千秋 震度 1：一宮市木曾川町＊, 一宮市緑＊, 犬山市五郎丸＊						
2020 年 05 月 29 日 19 時 05 分	長野県中部	36° 15.7' N	137° 38.4' E	4km	M5.3	
愛知県 震度 1：豊橋市向山, 新城市矢部, 新城市作手高里松風呂＊, 新城市作手高里縄手上＊ 豊根村富山＊, 名古屋北区萩野通＊, 名古屋瑞穂区塩入町＊, 名古屋熱田区一番＊ 名古屋南区鳴尾＊, 豊田市小坂町＊, 豊田市長興寺＊, 豊田市大沼町＊ 西尾市矢曾根町＊, 日進市蟹甲町＊, 蟹江町蟹江本町＊, 長久手市岩作城の内＊						
2020 年 05 月 31 日 00 時 56 分	静岡県西部	35° 02.2' N	137° 54.8' E	26km	M3.0	
愛知県 震度 1：新城市矢部						

（注 ＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『<https://www.jma-net.go.jp/nagoya/index.html>』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。

※この資料に関する問い合わせ先 名古屋地方気象台地震担当 電話 052-751-5124(平日 9-17 時)

～「災害時の避難について」～

2011年3月11日に発生した『平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震』や2016年4月14日と16日に2回の震度7を観測する地震が発生した『平成28年(2016年)熊本地震』、昨年10月の『令和元年東日本台風』など、規模の大きな地震や台風などによる災害が発生した際、被災地では多くの人々が避難所へ避難しました。新型コロナウイルス感染症が収束していない状況の中、もしも今、規模の大きな地震が発生した場合、先に挙げた2つの地震のケースと同様に多くの方々が自宅から避難することが考えられます。

内閣府防災情報ホームページでは、新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、**災害時には危険な場所にいる人は避難することが原則**とした上で、避難行動について以下のように知っておくべき5つのポイントなどを掲載しています。日本では、強い揺れを伴う地震はどこでも発生する可能性があります。5つのポイントなどの確認と合わせて、日ごろからの地震に対する備え（避難場所・経路の事前確認など）もお願いいたします。

- 避難とは[難]を[避]けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人家に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら携行して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。

なお、避難所などに避難した時は、エコノミークラス症候群の予防のため、十分な水分をとり、足の運動などを心がけましょう。

エコノミークラス症候群の予防については以下の厚生労働省 HP をご覧ください。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000170807.html>